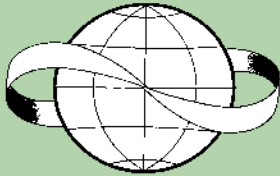


ヴェーナス通信

Venous (静脈) Venus (護美の女神)



商標登録第4882482号

第49号
(新年号)

発行 東多摩再資源化事業協同組合
理事長 紺野武郎 編集長 吉浦高志
東京都東村山市久米川町1-16-18
TEL: 042-395-9788
FAX: 042-395-9787

謹賀新年

昨年(2010年)の漢字は「暑」でしたが、政治も経済も我がふところも「寒」そのものだったように思います。何卒本年は穏やかな幸多き年になりますようお祈り申し上げます。

理事長 紺野武郎

昨年のリサイクル業界の状況を振り返って見ますと、

国内鉄スクラップの発生量は、推計三六五〇万トで前年比一二%増と、一昨年のリーマンショックからは、やや回復しました。古紙の回収量は、推計二一八〇万トンと前年比一%の微増で、在庫も低水準に推移しています。

注目されたのは、新びんの生産量が二十年前ぶりに増加に転じたことです。ペットボトルなどにおさ

れて減少を続けていたびんが、昨年は微増となりました。食べるラ

ー油やハイボール用の洋酒・炭酸びんの需要増が貢献したようです。前号でも取り上げましたが電子

書籍の発売も古紙業界には気になる話でした。片手に乗る電子書籍で二万冊もの本が読めるし本棚も要らない。宅配なしで各種新聞も読破できるとなれば紙の生産や古紙の発生に

も必ず影響が出るでしょう。今後電子書籍や携帯電話が、紙媒体の書籍や新聞などと、どのように競合するか注目です。

都に「古紙持ち去り問題」

対策協議会」設置される。

「行政回収」や「集団回収」の現場で社会問題になって久しい古紙持ち去り業者の出没は、各自治体や資源業界の努力もむなしく一向に減少しません。

東京都環境局廃棄物対策部でも調査に乗り出し、何らかの対策を打ち出す必要があるとして協議会を設置しました。

この内容については次ページの「直言拝聴」で上田会長に詳しく解説して頂きました。

ここでは持ち去り問題で問われる

問答を改めて考察してみます。

Q、資源物は誰が持つていつてもリサイクルされるなら問題ないのでは？ ホームレスいじめをして

いるようにもみえるが。

A、(十一ページの「持ち去り業者」参照)組織的に行っているグループとその基地が問題です。

ホームレス問題は、福祉や雇用の問題で、むしろ彼らを利用して回収させている元締めが存在が問題。

Q、古紙の行政回収を集団回収に切替えては？

A、行政回収が始まったのは、平成十年前後からで、古紙価格暴落で回収業界は雑誌古紙等の回収中止に追い込まれた時期でした。業界としては、僅かなコスト負担を頂ければ既存のシステムで十分に回収流通が可能と、国や自治体に訴えました。

しかし、安定した資源循環社会構築のため責任持って資源回収を実施するとして、ビン缶回収に加えて古紙や古布も、資源ごみと位置づけて行政回収をすることになりました。

行政回収の実施で自治体は、資源物を管理する義務が発生したわけで、その為の条例整備などが不十分だったことも問題を大きくしたとも言われています。

また問題を摩り替えてリサイクルシステムは、根幹を安易に変えられ

ては、市民も地域で協力してきた業者も納得しかねます。多摩地区では集団回収が伸び悩み

行政回収による回収量のほうがはるかに多く安定しています。一日も早く持ち去り問題を解決し、回収業務も地元資源業界に委ねてもらえれば、低コストで環境に優しく市民に信頼される安定した資源回収が推進されるものと思

います。

リサイクル適性 (A)

直言拝聴

東京から古紙の 持ち去り行為に終止符を

社団法人東京都リサイクル事業協会
会長 上田 雄 健



皆さまにおかれましては日頃より当協会の運営にご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

当協会は、古紙・古繊維・びん・缶等の、主に専ら物（もっぱらぶつ）の取り扱いを中心とした、都内三〇の広域・地域団体によつて平成十八年三月に都の認可を受けた社団法人です。立場の異なる資源回収業界と問屋業界等が、効率的で持続性のある再生資源の回収システムの構築を目標に、調査研究や広報・普及等さまざまな活動を行っております。

昨年（平成二十二年）は、長年にわたる課題であった、古紙持ち去り行為根絶にむけて大きな一歩を踏み出せた年でした。

私どもの呼びかけに応じて東京都環境局が「古紙持ち去り問題対策協議会」を発足。東京都・二三



区・多摩地域の自治体担当者の他、製紙メーカー・リサイクル業界、さらにオプザーバーとして監視行と聞古紙再生促進センターとが一同に会し、実効性のある対応策の検討を始めました。

これまで持ち去り行為に対しては、禁止条例の施行やパトロール等、各区市のご努力により一定の成果をあげられてきました。しかし持ち去り行為は取り締りの網をかいくぐって横行し、あたかも終留まるところがないのが現状です。今般の協議会はこのままでは、これまで築き上げてきた貴重なリサイクルルートの崩壊につながりかねないとの危機感が根底にありま。そのため、広域の観点から関係諸機関が共通認識を持ち、それぞれの役割を担うための検討をすることとなりました。このことで各地域での持ち去り対策レベルが引き上げられ、ひいては社会的対応が可能となる、非常に画期的なことであると考えます。

当協会では、これまで自治体を対象に「持ち去り実態調査」や「フオーラム」を開催する他、被害情報を共有する方策等の検討をして参りました。

他方、日本再生资源事業協同組合連合会（日資連）では、製紙メーカーと古紙問屋へむけて「持ち去り古紙流通阻止運動」を展開。

ほとんどの製紙メーカーから「賛同」の回答をいただく成果もあげられました。今後古紙問屋からも多くの賛同を得られることと思います。

また全国製紙原料商工組合連合会（全原連）では、古紙のジャパンプランドを作ろうと、古紙商品化適格事業所認定制度を運用しております。しかし、条例違反の古紙が一部問屋のヤードに平然と流通していることも否めません。登録事業所の更新期に差しかかった今期を契機に、持ち去り古紙を受け入れないチェック機能をもった制度へとバージョンアップすることを望みます。

その上製紙メーカーの皆さまにも、古紙問屋に対して持ち去りに関与することのないように指導をお願いしたいところです。私どもリサイクル業界も既存の制度を活用しながら、持ち去りをしない事業者である仕組みづくりに努めて参ります。

平成二十年夏に下された世田谷区における最高裁有罪判決は、三区の罰則付きの持ち去り条例の施行増加に拍車をかけました。ここに来て条例化が遅れていた多摩地域においても、施行や施行を本格検討する自治体が増加傾向にあると聞いております。

私は条例違反としての摘発にとどまらない、既存の刑事罰を適用

する、多層的で波状的な可罰的措置による抑止策が必要と考えております。具体的には、持ち去り回収業者には刑法第二三五条の「窃盗罪」を、持ち去り古紙を受け入れた問屋には第二五六条「盗品譲受け（故買）」ならびに「窃盗の教唆」、第二三二条「偽計業務妨害」です。

行政回収に出された古紙は「無主物」との解釈等により、刑事罰の適用は困難とされていますが、この見解はリサイクル社会に水をさすものです。これほど資源の行政回収が定着してきた昨今において、資源とごみとの判別は誰にでも容易にでき、資源が財物価値を有することは明らかで、もはや世間一般の常識ではないでしょうか？従って持ち去り行為は「他人の財物を窃取する窃盗」に他なりません。

一方、損害を被った側への告発を妨げる要因として①手間と時間を要する被害届けの手続き、②持ち去り業者から受けるかもしれない報復への心理的圧迫、③回収現場でのわずかな被害額等があげられます。取り押さえ現場での被害は、数十kg数百円程度とわずかですが、都内全域で被る損害は無視できないほど甚大です。東リ協会の試算によれば、平成二十一年度には新聞だけに限ってもその持ち去り量は少なくとも約四万三千ト

ンにのぼり、全体量の約三割を占め、推定被害額は約一四億九千万円に達するとみられています。

都内の資源(新聞古紙) 持ち去り量と被害額の推計 (平成21年度)

持ち去り量(新聞古紙)	区部(区部)	多摩地域(30市町村)	計
分別回収実績(平成21年度) (a)	65,771	48,147	113,918
持ち去り量(世帯別回収反映) (b)	112,821	62,587	175,408
持ち去り量補正(0.5)と新聞回収量(世帯別回収反映) (c)	100,206	56,294	156,500
持ち去り推定量 (d)=(c)-(a)	34,435	8,147	42,582
持ち去り率 (e)=(d)/(c)	34.4%	14.5%	27.3%

単位: 1円

被害額	区部(区部)	多摩地域(30市町村)	計
回収料(行政コスト) ②25/kg	861,200	203,675	1,064,875
回収料(回収料) ③10/kg	344,280	81,470	425,750
計	1,205,480	285,145	1,490,625

(社)東リ協会作成

また、持ち去り現場で注意を受けた者の中には、わずかなトイレあたかもチリ紙交換やチラシ回収

を装う者もいるようです。しかし、こうした苦しい紛れの言い逃れを許してはなりません。持ち去り回収業者はわずかなスキにつけこむ確信犯だからです。リサイクルの秩序を乱す者をこれ以上見逃すわけにはいけません。

持ち去り行為の包囲網を張るためには、都内すべての自治体で罰則付きの条例施行が望まれます。このことで社会的機運も高まり、警察に協力いただく根拠も明確となり、大きな効果が期待できます。取り締り効果の存否は警察の対応にかかっており、警察の迅速な対応は持ち去り行為への大きな抑止力となり、古紙を排出する都民にとっても安心感が増します。

しかし、現実にはホームレスを抱える自治体では二の足を踏む向きもあるようです。ホームレス保護の社会福祉尊重の立場と組織的な持ち去り行為排除とは全く異なる別次元の問題として捉えなくてはなりません。私どものターゲットはあくまで持ち去り古紙を受け入れる問屋と持ち去り回収業者による組織的行為です。持ち去り行為がホームレス問題にすり替えられてはなりません。われわれ業界もこの二つの問題を混同しない言動が必要となります。

ここ数年古紙マーケットは大きな転換点を迎えました。長引く景気停滞もありますが、新聞購読者

数の減少、電子書籍の拡大等のおりを受けて、紙の市場規模は幾分縮小し、古紙回収量も連動することが予想されます。これからは古紙の大量リサイクルから適量リサイクルの時代へシフトしていくものと思われれます。こうなると、持ち去り行為は益々激化するおそれがあり、この問題は全国共通の喫緊の課題です。

紙幅の都合で、古繊維(古布)・びん・缶・カレット・PETボトル等の諸課題については別稿に譲りますが、古紙に限らず、すべてリサイクルは「品質」「効率」「持続」をキーワードとした継続的改善を、地域と広域の複眼視点での対応が必要不可欠と考えております。いうまでもなく、日本のリサイクルは、市民と自治体・業界・エンドユーザー等が長年にわたって築いてきた参加と協働による信頼関係やそれぞれが役割を担うシステムによって支えられて、世界トップクラスの回収率と品質を維持してきました。

業界のみならず関係諸機関と心と力を合わせ、「持ち去りをしない・させない・受け入れない」体制整備によって持ち去り業者を一掃し、一日も早く正常な古紙流通を取り戻し、質の高いリサイクルを築いていきたいと存じます。皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

**日資連の持ち去り
古紙流通阻止運動**

先般、製紙メーカー三七社、輸出商社一二社に運動への賛同の要望書を提出した所、製紙メーカー〇社、輸出商社一〇社より賛同を得ることが出来た。特に日本製紙、王子製紙、大王製紙という国内新聞古紙のほとんどを使用するメーカーから賛同を得た事は、大変ありがたかった。日資連組合員二三四三社に対して、運動への賛同を改めて送付したところ、七〇%の組合員より賛同書が届いている。全国の組合員の願いは同じである。次の対策として全国製紙原料直納商組に賛同のお願いをしている。

全国八〇〇社の直納問屋に賛同して頂けなければ、「持ち去り古紙」をなくす事は大変難しい。「持ち去り古紙」を買う問屋がなくなれば、集めてもお金に換える事が出来ない。問題解決が非常に早くなる。ぜひとも賛同をしていただきたく願うものである。特に一大発生地である関東地区の直納問屋組合「関東製紙原料直納商工組合」には、解決の為に力強いご協力をお願いしたい。

2010.9.30現在

■製紙メーカー

No.	会社名	ご意見
1	株式会社エコペーパーJP	
2	愛媛製紙株式会社	
3	王子製紙株式会社	
4	王子製紙株式会社	王子エコマテリアル課からまとめて回答(別紙)
5	王子特殊紙株式会社	
6	大阪製紙株式会社	
7	大津製紙株式会社	
8	株式会社岡山製紙	
9	加賀製紙株式会社	
10	紀州製紙株式会社	
11	北上製紙株式会社	日本製紙種と統一見解
12	興亜工業株式会社	
13	株式会社 異人	
14	三善製紙株式会社	
15	山陽板紙工業株式会社	
16	大王製紙株式会社	あり(別紙)
17	大和板紙株式会社	
18	高砂製紙株式会社	
19	立山製紙株式会社	
20	中越パルプ工業株式会社	
21	東邦特殊パルプ株式会社	
22	特種東海製紙株式会社	
23	日本製紙株式会社	あり(別紙)
24	日本製紙パピリア株式会社	
25	日本大昭和板紙株式会社	日本製紙種と統一見解
26	兵庫パルプ工業株式会社	
27	福山製紙株式会社	
28	北越紀州製紙株式会社	
29	丸三製紙株式会社	
30	丸住製紙株式会社	
31	三菱製紙株式会社	
32	リンテック株式会社	
33	レンゴー株式会社	
34	いわき大王製紙株式会社	

**「持ち去り古紙の
流通阻止運動」
賛同企業一覧**

詳細については、日資連ホームページ
<http://www.nisshiren.com/>を
ご覧下さい

■輸出資社

No.	会社名	ご意見
1	日本紙パルプ商事株式会社	
2	豊通紙パルプ建材株式会社	
3	日商岩井紙パルプ株式会社	
4	丸紅ペーパーリサイクル株式会社	
5	住商紙パルプ株式会社	
6	国際紙パルプ商事株式会社	
7	美国中商日本株式会社	
8	株式会社トーインターナショナル	大賛成!
9	東方物産株式会社	
10	山登日本株式会社	

各市リサイクルフェアに参加

小平市エコフェスティバル

平成二二年九月十一日(土)、午前十時より、小平市福祉会館前にて、小平市エコフェスティバルが開催された。

当組合は、昨年同様、リサイクルクイズ・アンケート調査を行い、御協力頂いた市民の皆様に、トイレットペーパー「ブーメラン」ニロールと、機関紙「ヴィーナス通信」及び各種リサイクル関係チラシ等を配布した。

クイズでは、古紙の禁忌品や古布の出し方を指導し、また、アンケートでは、ニュースや情報の取得媒体、古紙回収の方法及び排出時間について調査した。

特に、市民の皆様にクイズに挑戦して頂いた中で、質問が多かつ



たのは、古布の出し方についてであった。

多くの市民の皆様が、雨の日でもビニール袋に入れば古布を出しても良いと思っており、古布は少しでも濡れてしまうと、リサイクルが出来ないことを懇切丁寧に説明し、理解して頂いた。

清瀬市市民祭



平成二二年十月十七日(日)、午前十時より、清瀬市のケヤキ通りにて、清瀬市市民祭が開催された。

当組合は、例年通りトイレットペーパー「ブーメラン」を販売し、機関紙「ヴィーナス通信」及び各種リサイクル関係チラシ等を一緒に配布した。

販売にあたっては、トイレットペーパー「ブーメラン」が、地元各市の市民の皆様より排出された雑古紙一〇〇%で作られており、地

球環境にも優しい商品であること説明し、古紙再生商品の普及に努めた。

東村山市リサイクルフェア

去る一〇月二十四日(日)、東村山市役所駐車場にて東村山市リサイクルフェアが開催されました。本年も組合ブースを出展し、古紙と古布のリサイクルに関するアンケートとクイズを実施しました。参加者には、トイレットペーパーを配布しました。



アンケートでは、問題となっている古紙の持ち去りに関連して市民の意識と古紙を出す時間(早すぎると持ち去られるし、回収開始時間を過ぎてしまうと後出しになってしまう)について調査しました。

持ち去りに関しては、ホームレスの方の収入源になっているから仕方ないとか、無料で回収してく

れるなら良いなどの意見も出ましたが、ホームレス対策はまた別問題ですし、無料で回収するといつても、値段のいいもの(新聞や梱包の良い雑誌)だけを都合のいい時だけ(雨の日はない)回収するのでは、持続可能な資源循環の輪を維持できなくなってしまうます。なかなか難しい問題ですが、広くPRしていく必要を感じました。

「第一〇回西東京市民まつりに参加」

西東京市は昨年十一月十三日・十四日の両日に亘りいこいの森公園にて市民まつりを開催した。

今回は第十回の記念大会でもあり、例年以上の賑わいを見せた。当日は、市ごみ減量推進課、清掃事業協同組合の二団体のブースと並んで出店させていただき、多くの市民の方々と交流することができた。

両日とも晴天に恵まれ、出店エリアでは一七〇以上のお店が並び、バラエティー豊かな軽食メニューや、西東京市の特産品、西東京市誕生十周年を記念した清酒などが販売されました。また、例年同様、姉妹都市・友好都市の特産品コーナーは大きな人気を集め、食品以

環境フェア リサイクルクイズ 集計報告書



外にも税・医療などの各種相談など生活に身近な多くの団体の出店がありました。
小さなお子さんから年配の方まで楽しめる市民まつりにまた来年も参加させていただきたいと感じました。

東多摩再資協リサイクルクイズ&アンケート

- ①古紙の持ち去り行為についてどう思いますか？（複数回答可）
取り締まるべき・仕方ない・持ち去っても良い・分からない
※その他持ち去り問題に対し、ご自由にご意見をお書き下さい。
()
 - ②古紙（新聞・雑誌・段ボール）をどの回収に出していますか？
・新聞（集団回収・市の回収・販売店回収・問屋持込）
・雑誌（集団回収・市の回収・販売店回収・問屋持込）
・段ボール（集団回収・市の回収・販売店回収・問屋持込）
 - ③市の資源回収に資源物を出す時、何時頃出されていますか？
・回収日前日の夜・回収日の朝6時前
・回収日の朝6時～8時30分の間・回収日の朝8時30分以降
・その他 ()
 - ④最後に、感想やご意見をお聞かせ下さい ()
- ご協力ありがとうございました。

平成22年9月11日
小平 リサイクルクイズ・アンケート 集計報告書

①小平市では行なっておりません

②	新聞	集団回収	45	名
		市の回収	75	名
		販売店回収	123	名
		問屋持込	0	名
		福祉作業所回収	0	名
雑誌	集団回収	37	名	
	市の回収	184	名	
	販売店回収	5	名	
	問屋持込	0	名	
	無回答	0	名	
段ボール	集団回収	27	名	
	市の回収	1905	名	
	販売店回収	2	名	
	問屋持込	0	名	
	無回答	0	名	
③	回収日前日の夜	0	名	
	回収日の朝6時前	7	名	
	回収日の朝6時～8時30分	170	名	
	回収日の朝8時30分以降	58	名	
	無回答	0	名	

平成22年10月24日
東村山 リサイクルクイズ・アンケート 集計報告書

参加人数 414 名

①	取り締まるべき	253	名	
	仕方ない	64	名	
	持ち去ってもよい	15	名	
	わからない	38	名	
	無回答	14	名	
	複数回答	14	名	
②	新聞	集団回収	118	名
		市の回収	148	名
		販売店回収	119	名
		問屋持込	0	名
		福祉作業所回収	0	名
	雑誌	集団回収	110	名
		市の回収	288	名
		販売店回収	6	名
		問屋持込	0	名
		無回答	0	名
段ボール	集団回収	119	名	
	市の回収	264	名	
	販売店回収	3	名	
問屋持込	0	名		
③	回収日前日の夜	32	名	
	回収日の朝6時前	37	名	
	回収日の朝6時～8時30分	298	名	
	回収日の朝8時30分以降	43	名	
	無回答	4	名	
複数回答	14	名		

平成22年11月13日
西東京市 リサイクルクイズ・アンケート 集計報告書

参加人数 349 名

①	取り締まるべき	263	名	
	仕方ない	45	名	
	持ち去ってもよい	9	名	
	わからない	37	名	
	無回答	9	名	
	複数回答	14	名	
②	新聞	集団回収	69	名
		市の回収	97	名
		販売店回収	178	名
		問屋持込	3	名
		福祉作業所回収	2	名
	雑誌	集団回収	82	名
		市の回収	253	名
		販売店回収	4	名
		問屋持込	2	名
		無回答	0	名
段ボール	集団回収	92	名	
	市の回収	255	名	
	販売店回収	6	名	
問屋持込	3	名		
③	回収日前日の夜	15	名	
	回収日の朝6時前	18	名	
	回収日の朝6時～8時30分	244	名	
	回収日の朝8時30分以降	51	名	
	無回答	18	名	
複数回答	13	名		

平成22年11月14日
西東京市 リサイクルクイズ・アンケート 集計報告書

参加人数 373 名

①	取り締まるべき	264	名	
	仕方ない	50	名	
	持ち去ってもよい	9	名	
	わからない	55	名	
	無回答	3	名	
	複数回答	8	名	
②	新聞	集団回収	98	名
		市の回収	111	名
		販売店回収	159	名
		問屋持込	1	名
		福祉作業所回収	1	名
	雑誌	集団回収	103	名
		市の回収	256	名
		販売店回収	7	名
		問屋持込	2	名
		無回答	0	名
段ボール	集団回収	91	名	
	市の回収	270	名	
	販売店回収	8	名	
問屋持込	1	名		
③	回収日前日の夜	20	名	
	回収日の朝6時前	39	名	
	回収日の朝6時～8時30分	265	名	
	回収日の朝8時30分以降	49	名	
	無回答	4	名	
複数回答	15	名		

王子製紙株式会社 富士工場見学

平成二二年十一月二六日(金)、静岡県富士市の王子製紙株式会社・富士工場を見学した。

まず見学前に、会議室で富士工場事務部副部長・小山勉氏はじめ工場の方々に、王子製紙株式会社と富士工場の概要について説明があった。

王子製紙株式会社については、「一九四九年(昭和二四年)八月一日に設立され、紙・パルプおよび紙加工品の製造および販売を主な事業としている。」



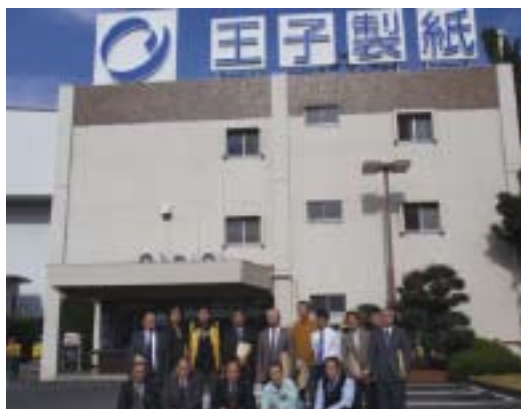
現在では、いずれも二〇一〇年三月末現在で、売上高が一兆円余り、工場数は国内外合わせて一七五工場、従業員数が約二万人と、我が国屈指のグローバル規模の製紙メーカーである。」と説明があった。

また、富士工場については、「敷地面積が二六万㎡、従業員数は二〇〇人余りであり、印刷用抄紙機設備(N-1マシン、一九九〇年十月運転開始、日産能力三五〇t/日)と、白板紙抄紙機設備(N-2マシン、二〇〇一年十月運転開始、全長二三〇m、日産能力七〇〇t/日、抄速毎分八〇〇m)の世界最新鋭マシン二台を保有し、雑誌・チラシ等の印刷用紙や、菓子・箱・ティッシュペーパーの箱等の白板紙を生産している」とのことだった。

説明終了後、白板紙抄紙機設備(N-2マシン)を見学させて頂いた。

富士工場の紙加工工程は、原料となる古紙(新聞・チラシ・雑誌・牛乳パック等)を水等でほぐし(パルパー、離解)、異物やゴミを取り除き(クリーナー、除塵)、インク等を取り除く(フローテーター、脱墨)の工程を経て、抄紙工程N-2マシンに投入される。

N-2マシンでは、紙層の形成(ワイヤーパート)、脱水(プレスパート)、乾燥(ドライヤーパート)、紙の両面に塗料を塗布する(コーターパート)、出来上がった紙をロール状に巻き取る(リール、ワインダー)という工程を経て、再生紙製品となる。



最終的には、再生紙製品は、ロール状のまま製品にするものと、カッター平判に断裁して製品に仕上げるものになるとの説明があった。

見学終了後、質疑応答が行われ、特に捺染紙(アイロンプリント紙)など再生困難な古紙の混入で頻発するトラブルの話があり、実際工場内に大量のトラブル製品の在庫も確認された。王子製紙株式会社では、財団法人・古紙再生促進センターと連携しながら、捺染紙は、古紙再生不能品(禁忌品)であることを強く訴えていきたいので、古紙回収業界にもご協力をお願いしたいと、要望があった。

平成二十二年度 日資連研修会開催

毎年恒例になっている研修会を、今回は「レアアース・レアメタル」を主題にして十一月七日、八日の二日間にかけて開催した。七日は品川区の「ニューオータニイン東京」で講習会を実施、八日は江東区の「有明興業株式会社」を見学した。初日の研修会は、経産省リサイクル推進課の岡田課長による「レアアースの総合対策とリサイクルについて」及び「古紙リサイクルについて」、東京都環境局資源循環推進の金子課長による「都市鉱山と呼ばれる市中にあるレアメタルはどう集めどう再生すべきか」、最後に株式会社リサイクルワシ環境コンサルティング事業部宮川英樹マネージャーによる「万博後の中国の経済成長予測とそれに伴う銅やアルミ等の非鉄金属の需給予測」を講演した。

岡田氏は資源回収方法とコストの問題や古紙中国国内の古紙回収率の上昇による古紙輸入の変化や、輸出価格による日本国内の古紙市場に与える影響などを話され、金子氏、宮川氏は「レアアース・レ

アメタル」の収集の方法や、市場の将来性を話された。大変興味深く、参加者全員真剣に耳をかたむけていたが、私もリサイクル事業者では採算面でかなりハードルが高く、乗り越えるには大変苦労が伴う様だ。

八日「有明興業株式会社」の施設見学会が行なわれた。

(社)東京都 リサイクル事業協会

東北(仙台)視察会

十一月四、五日(社)東リ協会仙台視察会に参加した。一日目は日本製紙製紙(株)石巻工場を見学、石巻工場は北上川と海に囲まれた立地条件の恵まれた臨海工場として一九三八年(昭和十三年)設立されたそうで、現在では印刷用紙の単独工場としては世界トップレベルの生産能力があるということでした。

工場内はバスで移動し、二〇〇七年に導入した世界最大級で最新鋭マシンを見学した。今は板紙の生産が主力となっており、昨今の景気の影響であまり状況がよく

ないということでした。

二日目は製鉄電炉メーカーのJFE条鋼(株)仙台製造所を見学した。コストが安い夜間電力を利用しているため朝の八時ぐらいまでしか炉が動いていないということとホテルを朝七時前に出発した。ここでの見学もバスで移動し電炉のスクラップ投入から順次、製品が出来上がるまでを一時間ほどかけて回った。最終的にはコイル状と棒鋼状にし、それを自動車部品やボルトなど三〇〇品種ほどの製品にしているということでした。製品輸出は三〇パーセントほどで自動車部品などを韓国、台湾などに多く輸出しているそうです。スチール缶プレスも原料としては使え易いアルミキャップなどが入っても問題がないということでした。

次にJFE条鋼の敷地内にある、仙台市行政と協力しながら操業している、廃プラをリサイクルし荷物用パレットを作っている新港リサイクル(株)を見学した。廃プラが選別ラインを経てボール状になりそれをパレット状にしてからパレットになるまでの行程を見学した。パレットは一一〇センチ四方で一枚一三八〇円(工場渡し)で、要望があればご相談ください

ということでした。見学の後、仙台市環境局長から一〇〇万都市仙台のリサイクルの取り組みなどの説明を受けた。

そして最後にビン、缶、ペットボトル、の中間施設の松森資源化センター(仙台市泉区)を見学した。ここはプラスチックのカゴに、ビン、缶、ペットが一緒に入れられたものの回収しそれをラインで選別しプレスすると行った中間処理施設で処理方法はこちらと変わらないがペットボトルも一緒に集めているのはこちらと違うところだった。

仙台は海に近いということで製紙メーカー、製鉄メーカーも立地条件を生かし、また交通網も整備されてきており、これからの発展が予想されるところだと思えます。



広瀬川

小平市地域懇談会

十二月十五日(水)に(社)東京都リサイクル事業協会主催の「小平市地域懇談会」に、東多摩再資源化事業協同組合が幹事組合として参加した。

司会は紺野理事長。「小平市のリサイクル施策の現状と課題について」をテーマに講演されました。第一部の講演では、小平市市長小林正則氏より「マニフェストと環境施策」というテーマでの講演をいただきました。

「経費の明示と財源確保策」「実行スケジュールの明示」の二つを掲げ、費用、達成時期を明確にし、「変革」を実感できる街づくりをされました。

地方分権の基礎づくりとして、タウンミーティング等を繰り返し、行政が作るのではなく小平市市民が自ら「小平市自治基本条例」を制定するなど自分達が考え、行動し、責任をもった町になったそうです。

小平市環境部部长 小林勝行氏から小平市の風土、歴史の説明をしていただき、小平市環境部ご



み減量対策課課長 西稔典昭氏より「小平市のごみリサイクル施策について」の講演をいただきました。小平市ごみ減量対策課では、生ごみの処理として平成十二年度より市内各小学校に生ごみ処理機設置、平成十六年度からたい肥の有効性の実証実験を行い、実現に至りました。平成十四年から剪定枝のチップ化をしており、農家で畑の敷材・たい肥として利用されています。

第二部講演では、協会理事の江尻京子氏をコーディネイターに

「リサイクル市況の報告と意見交換会」が行われました。古紙の流通動向を(社)東リ協会会長 上田氏、リターナルびん・空き缶・PETボトルを戸部昇氏、カレットの流通動向を菅沢和志氏に報告していただいた。場所を移し懇親会が行われ、集まった各組合員と交流を盛況の中会は終了しました。



2010 エコプロダクツ見学

「グリーン×クリーン革命！〜いのちをつなぐ力を世界へ〜」のキ

ヤッチコピーで開催された今年のエコプロダクツ。限られた時間の中で紙に関連するブースを見て回りました。

今回は森林、木に重点の置かれた展示が多かったように思います。植林や生物多様性の保全、循環型社会の形成等の説明をパネル展示し、エコ製品に触れられ、クイズラリーをしながら学べるようになっており、大人の夢中になってしまいました。平日の午前だったせいにか小・中学生の見学が非常に多く、混雑する中を機敏に動き回っている様子が印象的でした。子どもの既成概念に捕らわれない視点でどのように見て、聞いて、感じ取っているのか。我々もこんな時くらいは子どもに返った方が得るものも多いのかななどと思いましたが。全体的には、大規模な取組みにも感心させられました。身の回りからできるエコについても取り上げており、エコは身近なものであると再認識しました。こつこつとエコってみようかと思えます。なお、開催初日の十二月十日には、(財)古紙再生促進センター主催のシンポジウムが行われ、古紙リサイクルに関する活発な意見交換がなされました。

コラム



小平市公共下水道管理センター
ふれあい下水道館

十二月十五日(水)に(社)東京都リサイクル事業協会主催の「小平市地域懇談会」が行われました。その時、小林市長をはじめ小平市の皆様に日本唯一の下水道のテーマパーク「ふれあい下水道館」のことを教わり早速見学に行つて来ました。

小平市の下水道事業は、昭和57年着手以来二十年の歳月をかけて平成二年度末に汚水整備が完了しました。全国の自治体で、一三番目の完全下水化市とのことでした。完成を機に、下水道に関するさまざまな資料を展示し、正しく理解別展示室「水と環境を主としたイベント」を行う多目的空間。B5Fは「ふれあい体験室」実際使われている下水道管やマンホールの実物展示があり、防水扉を開けると本物の下水管の中に入ることができ、内径が四・五mあり地下鉄も通れるほどの大きさに圧倒されます。見学用の橋が架けられ、下水道の奥に向かってスポットライトが当



てられています。流れは緩やかでしたが、ゲリラ豪雨のよおうな大雨が降ると、見学用の橋が下水に飲み込まれることもあるそうです。西武国分寺線「鷹の台駅」から徒歩七分。遊歩道を散策しながら、玉川上水の景観や、小平市の歴史に触れ、改めて水の大切さ、下水道の有難さに触れてみてはいかがでしょうか？

青年部 水野



回収車両運転者安全
講習会を開催しました

去る一二月三日(金) 東村山市民センターにて行政回収に参加している運転者の安全講習会を実施致しました。

会場には当組合の一五社およそ一〇〇名の運転者が作業を終えて集合して頂きました。

司会進行を務める青年部水野幹事から開会の挨拶、役員・青年部紹介、全員起立して組合安全行動宣言を唱和と続きました。

紺野理事長から挨拶があり、官公需適格組合の認証の意味するところと当組合の果たすべき役割、ここにいる全員で仕事を担っていること等お話がありました。

講習会の部前段では、福田青年部長から回収車両運転者としての心得と、共同受注検査についての協力依頼に関し説明がありました。

安全講習会の部では、講師に株式会社ファクトの荒井氏をお招きし、ドライブレコーダーの記録映像を用いた危険予知シミュレーションを行いました。

ドライブレコーダーの映像は実際にあった事故の映像で、中にはかなり衝撃的なものもありました。

改めて、車を運転すること自体が凶器になることもあるということを実感しました。

ドライブレコーダーの装備に関して、一昨年に組合で試験的に導入しましたが、広く装備することの必要性を感じました。

車の運転業務を生業とするものとして、組合員全員日々精進して交通安全に努めてまいりたいと思えます。(青年部 紺野)

アルミ缶リサイクルの
推進をしています

アルミ缶の製造・再生事業者、飲料メーカー、流通商社により構成されるアルミ缶リサイクル協会 (<http://www.alumi-can.or.jp/>)

では、アルミ缶のリサイクルを一層推進するために一般表彰として回収協力者へ、学校表彰として回収優秀校への表彰を行っています。

この表彰は、アルミ缶リサイクルに関して、回収年数や回収量での実績と、収益金を社会福祉や自治会事業に役立てていることなどの基準を満たした団体や個人、学校を回収業者が推薦し、協会で選考されます。

当組合組合員からも毎年集団回

収団体と集団回収実施校を推薦しております。

昨年度は、長年にわたってリサイクル活動の実績を積まれた優秀校として東久留米市立神宝小PTAを推薦し、表彰されました。回収協力者としては、回収量の多かった北秋津町内会を推薦し、こちらも表彰を受けることが出来ました。(受賞者はアルミ缶リサイクル協会のホームページでも見ることが出来ます。)

当組合では、集団回収を推進していく中でアルミ缶のリサイクルも積極的に取り組んでいきたいと考えております。すでに集団回収でアルミ缶の回収に協力されている団体や学校で表彰に興味がある方は、一度回収業者にお問い合わせしてみして下さい。

気になる語源

(その2)

今回は業界の呼び名の変遷を紹介します。今でこそ「再生資源リサイクル業」などと言われますが、「ちり紙交換業」が出現する昭和四〇年代までは「ばた屋」とか「く

ず屋」と呼ばれ、「廃品回収業者」ともいわれていました。

業界の全国組織『日本再生資源事業協同組合連合会』が経済産業省リサイクル推進課より本省認可を得て正式に国に認めて頂いたのは、平成二十年十一月と僅か三年程前のことです。

呼び名の変遷からもわかるように業界には長く悲しい蔑視の歴史も多く残されています。

◎くず屋は、今でも紙屑とか鉄屑の言葉があるように、その買取業者であり、ごみ屋(廃棄物処理業者)とは区別して使われていた。

◎「ばた屋」の語源は、『東資協二十年史』によると、

明治の中ごろ浅草今戸橋付近の再生紙工場が、江戸時代から続く浅草紙を生産していた。当時それらの紙を総称して「川端紙」略して「ばた紙」と呼び、その原料を集める人をばた屋と呼んだ説。

別の伝承では、日本橋の魚河岸一帯で魚の腸(わた)を肥料にする権利を持った業者が、万年町周辺の貧民に魚の腸を集めさせていた。その収集人をわた屋と呼んでいた。やがて魚の腸以外にも古布や古紙も集めだした彼らを「ばた屋」と呼ぶようになったとの説。

大戦後は、リヤカーを引いて道

端のごみ置き場から有価物を拾集していた人を「ばた屋」と呼び、各家庭を回って不用品を買い取る業者を「買い子」とか「買出人」と呼んでいた。

しかし昭和五〇年代には、いずれの業態も呼び名も殆どなくなり、「集団回収」や「販売店回収」そして「行政回収」へと回収形態も変わっていった。

◎持ち去り業者は、「ばた屋」の延長上で道端から拾集していた民間業者のように主張しているが実態は全く違う。

新たに『組織的に作られたグループ』が殆どで、地域で推進しているリサイクルシステムを狙って、新聞古紙などを横取りしてゆく卑劣な集団と言うしかない。

しかも古紙市況や天候の変化で来たり来なかつたり、回収困難な物や場所には手を出さず欲しい物だけを横取りしてゆく。遠方から越境してきて地域のリサイクル事業に損害を与えるだけでなく、その地域の生活環境や教育環境にも甚大な悪影響を及ぼしている。全国の大多数の民間業者は、各地域で「集団回収」や「行政回収」そして地元施設や事業所などリサイクル事業に協力して営業していることをご理解頂きたい。

トイレットペーパー

「フューメラン」

(65m巻き・100個入り)

1ケース3,000円(消費税・配達料込み)です。

※注文は1ケース単位です。

※尚、配達地域は以下の地域に限定致します。

(小平市・東村山市・東久留米市・清瀬市・西東京市・東大和市)

ご注文は当組合までお願いします。

TEL : 042-395-9788

FAX : 042-395-9787

2010 中央会表彰

去る十一月十八日、奈良市・なら百年会館において、第六二回中小企業団体全国大会が開催された。本大会において紺野理事長が組合功労者として東京都中央会より推薦を受け表彰の栄に浴した。



行事・行動

【平成二二年十月】

- 四日：事業系古紙回収PJ
- 八日：東資協理事會
- 一日：定例理事會
- 三日：小平RC安全會議
- 四日：東村山市・廃棄物減量審
- 五日：(社)東リ協会・交流_{アキタ}
- 六日：日資連・SK委員会
- 七日：清瀬市民祭り
- 八日：(社)東リ協会・理事会
- 二〇日：青年部會議
- 二二日：(社)東リ協会持ち去り委
：福利厚生委員会
- 二四日：東村山市環境Rフェア
- 二五日：古紙C業務委員会
- 二七日：多摩地域古紙問題研修會

二八日：官公需適格組合懇談會

【十一月】

- 二日：福利厚生委員会
- 四日：(社)東リ研修會・東北仙台地区
- 五日：〃〃
- 七日：日資連・研修會
- 八日：東資協・理事會
- 一日：小平市地域懇・打合せ
：定例理事會
：業務委員会
- 二日：環境カウンセラー研修會
- 三日：西東京市・市民祭り
- 四日：〃〃
- 五日：(社)東リ協会・理事會
：小平RC安全會議
- 八日：東村山市・廃棄物減量審
- 一八日：全国中央会・奈良大会
- 一九日：東京都古紙持ち去り協議會
- 二二日：福利厚生委員会
- 二五日：古紙C業務委員会
- 二六日：組合研修會
王子製紙(株)富士工場視察
- 二七日：日資連理事會
- 三〇日：青年部會議

【十二月】

- 三日：東京都議會自由民主党幹
事長就任祝い
- 三日：回収員・安全講習會
- 四日：RC従業員慰勞會
- 六日：財務委員会

七日：都中央会決起大会
八日：東資協理事會
九日：オフィス古紙回収シンポ

- 一〇日：定例理事會
- 一三日：小平RC安全會議
- 一五日：小平市地域懇談會
- 一六日：東村山市・廃棄物減量審
- 一七日：広報委員会
- 一八日：日資連・SK委員会
- 二〇日：青年部會議

【平成二三年一月】

- 六日：年始まわり・RCほか
- 七日：中央会・賀詞交歓會
：古紙C・賀詞交歓會
：東資協理事會
- 一日：広報委員会
：定例理事會
- 一三日：小平RC安全會議
- 一五日：日資連・理事會
- 一七日：(社)東リ協会・理事會
- 二〇日：組合・賀詞交歓會
- 二二日：TAMAとことん西東京
- 三〇日：TAMAとことん東村山
- 三一日：古紙C業務委員会



編集後記

直言拝聴にご寄稿くださった上田会長大変ありがとうございました。日本の中心である東京都が動き出したことは地方の日資連組合員にとって朗報であり、またどのような対策を取られるのか大変期待していると思います。私共も会長と共に解決に向けて組合員一同より一層努力して参りたいと思います。今、新聞を開くと載っていない日がないくらい有名になっている「レアアース・レアメタル」は、見渡すと私たちの身近な品物に沢山使われているようです。単体で使用されていれば私達も再生資源として集めやすいのですが、混合された物から取り出すなど、重量がグラム単位になると、なかなか力を入れて取り組むのは難しいようです。しかし私は都市鉱山を採掘するような国を挙げての事業計画よりも、専門分野である埋もれた古紙の掘り出しに一層の労力をかけていきたいと思えます。今年には卯年で日本では兎ですが、ペトナムでは猫らしいですよ。国によって十二支に当てはめる動物も違うのでしょうか。ジャンプして上を目指そう。

兔年 吉浦